



吉野
北之

都

繁

栄

76
1402



町々
都
吉兆
毎
祭

平安竹林書屋 雀踊堂合梓



三五

邊
1402

門邊 6
1402
卷

深

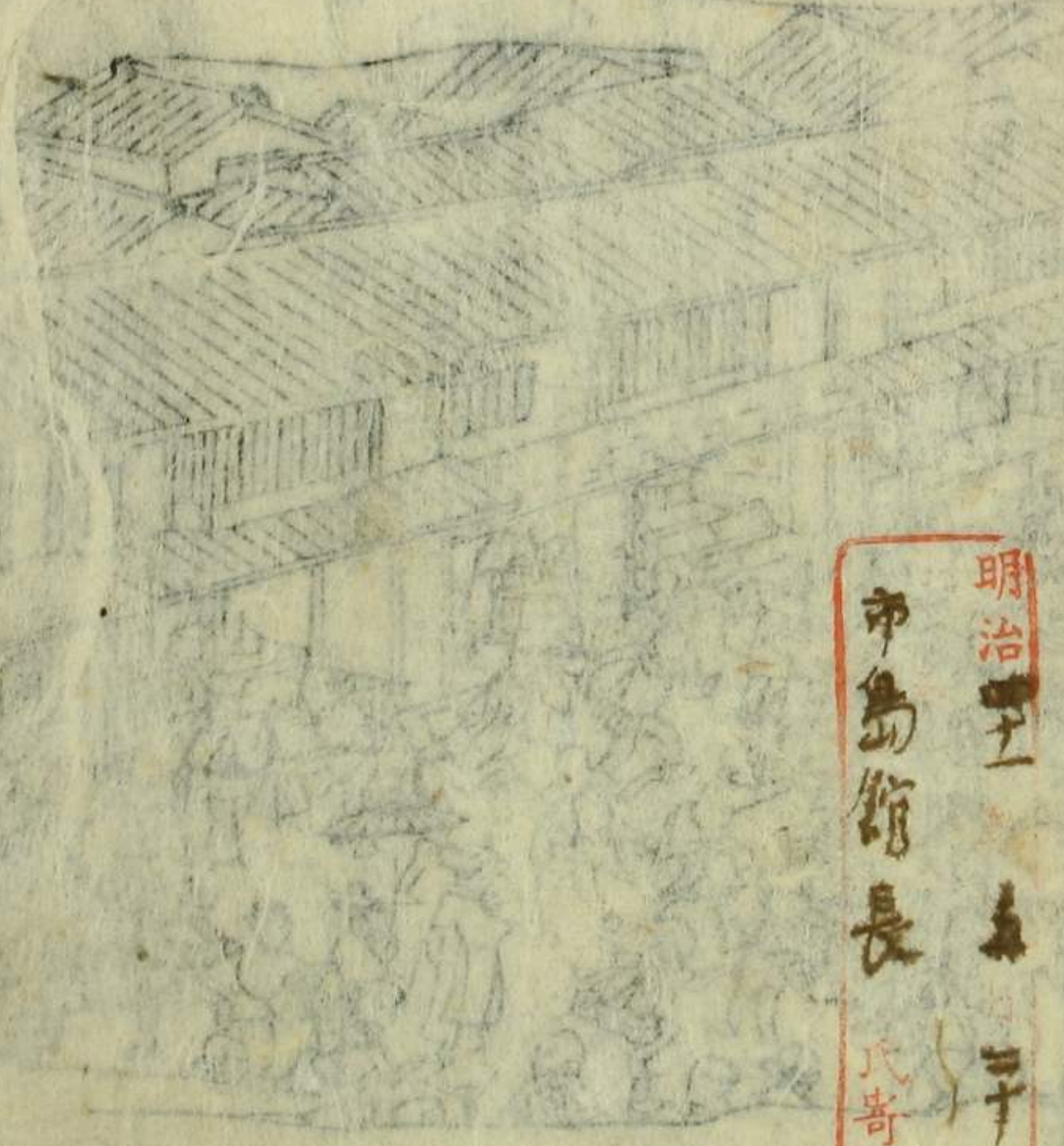
晴

海

言

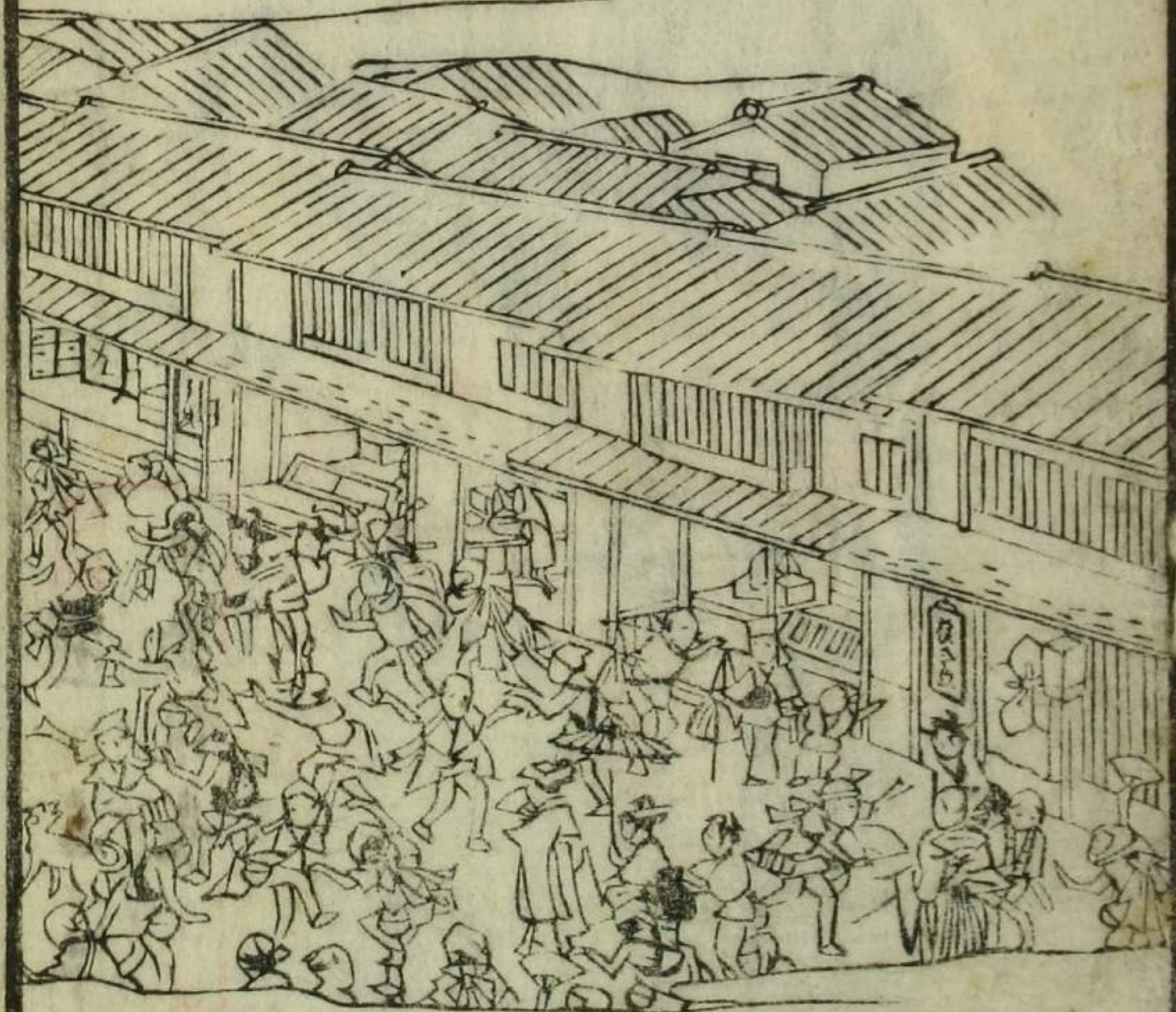


Handwritten text in the upper left section of the left page, including characters like '深' and '晴'.

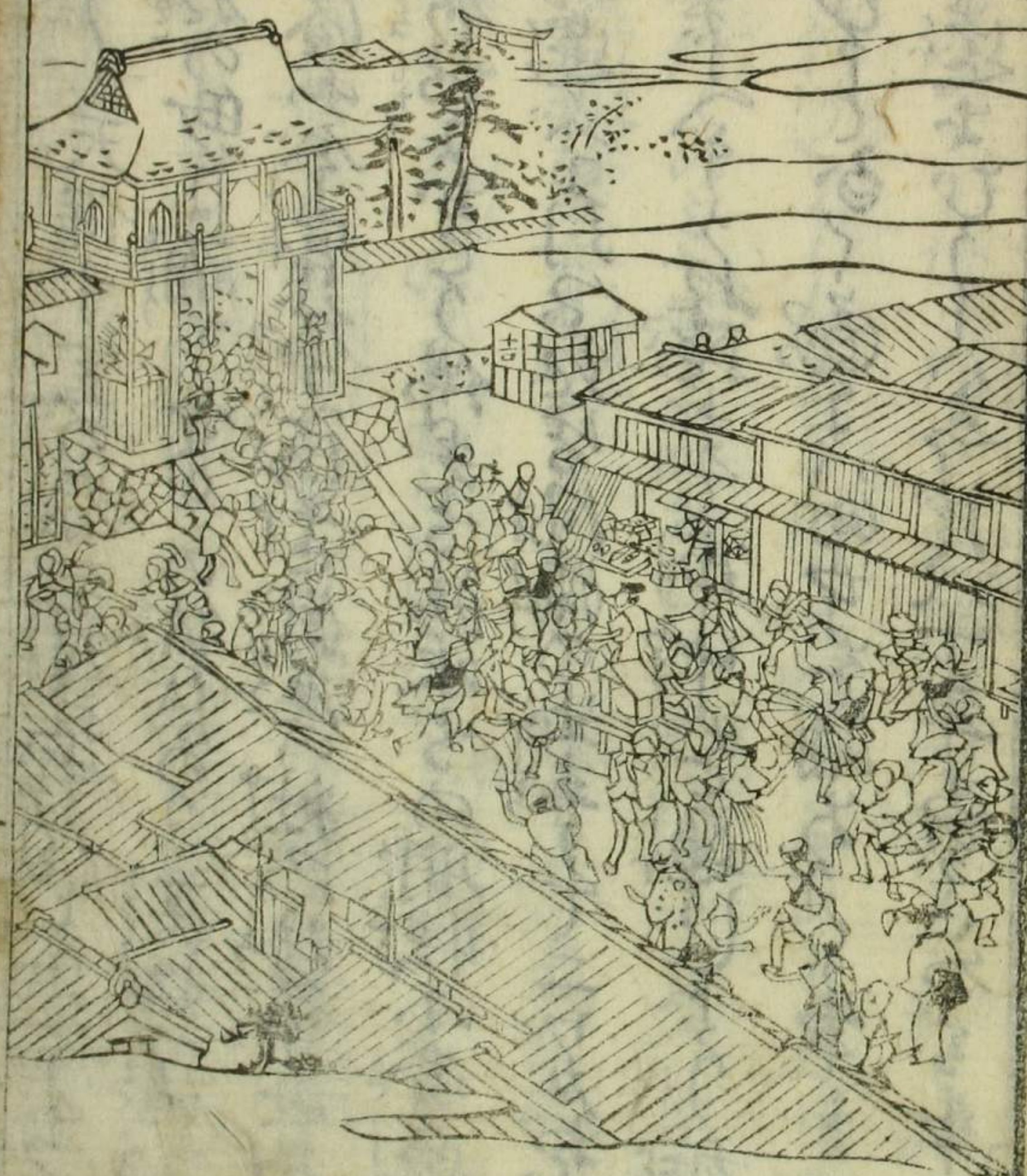


明治二十五年三月十日
市島館長 氏寄贈

見
 こせ
 家並
 おしり
 あり
 来て
 都そ



錦の
 たり





○こころ〜天保十亥の春三月廿中夜より〜
 日さぬ於の由に彌て〜の徳ひあり其始は法皇
 頂好寺洛今宮伏見高尾の社乃地築井由
 御乃の砂持よおころ佛老古法水寺の用帳小寺遊
 扱を持運ぶ〜訂つた皆風俗の出立〜て二ワカを
 事をも〜へ〜る路がて市中を通じ〜り難
 ろ〜も〜る〜道〜の町中を彌あ〜り〜事〜ハ
 かんぬ遠出む〜ハ志だ八十一年あ〜り〜おる事

と或老人の言はれる。往古ハ飢饉のあり終てが〜彌て
 此ををり〜し〜すも。されども徳るる書りも〜す。唯
 俚俗の云々ののみ。安ん此をけるハ代末の〜り〜
 事〜て。老若男女老幼のこころ〜。数千人の者。東西馳
 ちぐひ。南北に走らぬ。おひに〜と〜も。室籠も〜り〜
 家も〜。其名を〜作お〜と〜と称す〜。此を〜の
 言も〜。〜たる森村を〜た。程ひ未〜の心〜
 べ〜。〜彌あ〜出立ハ。〜天〜を〜。〜ち〜。〜

枕ひ。かゝいさび〜ふせらるるまはして。腰は冷と思ふ子をけしき。
三月の中以上京より始り。次第に中京下京へうつり。三月
の末よりうつりて。法中法外あつて。おどしぬおもひなき。

好くすたの男より来ておとろうね

茶ももろろ一行れたとろうね

所々を踊あうく中にも。川東の遊歩は是より始り〜く。みる
やひひて後世とせをたゞも。妓女げいこ仙人せんじん仲居なこう小婢せうひとも。男おとこ作りて。
一組五十人又三十五人男の中なかふやどりて。おどろくろく程

ふ。川西より客きやくと名のつく輩。うね好すたの少年せうねんは法外を
目あて〜して。昼夜ひつらの差別さべつき〜。うね手てひらうて。遠とほきよ
家いへ〜遠とほ入いれておどろ程ほど。祇ぎま所ところをいへ新地しんちのま橋や表
一戸を踊場おどろばのわがはしておどろ多おほが。ほよはしそのま樓うも。
あやう入いれむがうのあまじ

一カでゆるぬ踊のあまじり

井いづもおれど〜まをたぐれ

志しもあまの所ところを〜ちぢひたるよ。世よとひて「おどろ

わどろ
 ねんねん
 緋かのもこ
 ひまざり
 ぶぢりめん
 黒びりめん
 島びりめん
 縹子めん
 舞子めん
 つくまんの
 こぶひりて



人の目を
 驚かす
 毎々
 都とぞ
 驚れ
 張み
 あら
 四糸の
 た右
 聖代の
 あり
 さを
 もの
 お



埤精いづいふ小鳴子の橋いづす先

植かを鈴すずりりしたうねとおどるは

俗に云瓶の官上りといふべたさるるをて
おどるのうささひ出る

かのほぶみのうーしりふ

太祇

おとらあつし哉

夜よがらみて猫ねこも朽くるも

蕪村

ねどろくろき

魂たまと家いえも

おどるまで踊うは

作者
志しに

やれど踊追くおどるむやどよ。あつく北きた富とみ家けあ

るいやごとたうねはあやぐ。撫なりめー煮ゆ煉れんのこひ。

ゆりこ茶酒。菓子ゆゆ水みづをを流ながす。かふ。これよ

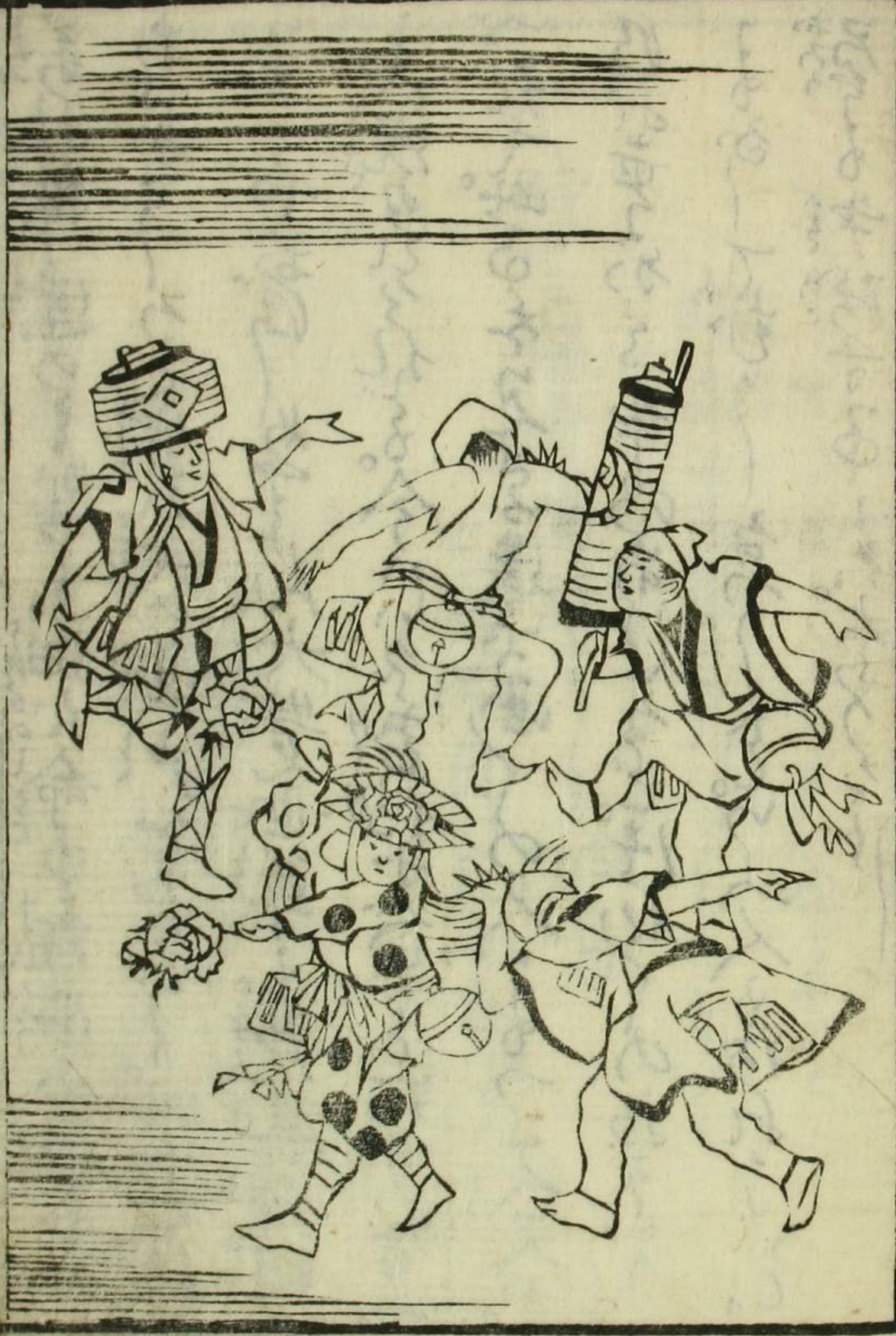
おどるいよ。おどるさるいとおい。

みれをささあつ雀すずめの病やまひは

百ふたつちやぐ。踊おどるもりあ

四月三日よまて。雨あめのうらもやをう休やすむをを替かへ

笠がさかぶる。確たしかる。其中よいとあく。おどるもりあ。雨あめ



金瓶とて桂もせらる。妻笠として弓矢ともち。寝る
 時多し分りて。案山子れとる。しるもあう。く。井
 の子とて孫を付て雪をはらう。孟宗の争をとり小
 持するもど。雨のう。且れ早即^{さつき}_{ちんち}皆人かむあう
 雨あられ向ふおどろねがどー哉
 孟宗ハ二十^{きん}_{がう}叛向のおどろね
 古向のさうらうふうもあう
 ぬれよてつとつとびつともへいさねぞ天照大神ハ百

此神達のまがら。鈿女命の舞曲不愛のひ。
 おおとろと室の天の盤戸をひらひ。此うら
 りとやおほめすん。大豊世尊も教喜踊躍
 とい悦めしうれも。今いいたる化すまよと。何さか
 べた。此のをいさる遠まよくの人もつる人。又
 ほかまよかち奉るあらしも。ほれくの拍子
 ともあてむう。あらしもつる人もはれうと。
 なるも中張する。たあらしも

かくとだふ半とる半此命毛と

新永お世れとあらしとやせま

干時と保十家此と四月

三五周月九小おどろ
しとある



京新町榎木町下ル丁

金屋新兵衛板

平安書房

雀踊堂合梓





